

しいきアルゲリッチハウス

「しいきアルゲリッチハウス」は故椎木正和氏から、未来へ向けてアルゲリッチの芸術を繋ぎ、音楽と共に人を育む場所としてご寄贈いただきました。善意の心にあふれた場所でもあります。

国内外で活躍する音楽家の方々にご協力をいただき、皆さまにクラシック音楽の真髄に触れていただいています。

次世代へは講演会やレクチャーを通して、人生や社会を考える機会を設けて、教育の役割も果たしています。

そしてこのハウスはアルゲリッチが刻む大分県での功績や、音楽家としての輝かしい歴史を後世へ繋いでいく大切な役目も担っています。

未来を創る

おかげさまで室内楽シリーズは8年目を迎えます。今年のテーマは「未来を創る」です。

クラシック音楽は何百年もの間、その歴史を紡いでいます。どんなに文明が進み、モーツァルトやシューマンが生きた時代とは違っていても、私たちはその音楽に心を動かされます。なんと不思議で素晴らしいことでしょうか。人の心に最も近い存在、それが音楽なのかもしれません。

今回のシリーズも素晴らしい音楽家の方々が興味深いプログラムを用意してくださっています。このひとつひとつの公演がアルゲリッチの特別なハウスでの歴史を刻み、その歴史が未来を創造し、次の世代へも繋がっていくのだと思います。

そのために私たちは新たな道を歩もうとしています。皆さまにはぜひとも応援をしていただければと願っています。

今回のシリーズもこころゆくまで素晴らしい演奏をお楽しみください。

別府アルゲリッチ音楽祭 総合プロデューサー
しいきアルゲリッチハウス プロデューサー

伊藤 京子



©Rikimaru Hotta ©有限会社ジェイクス 佐藤二郎



「マルタ・アルゲリッチの日」制定記念
～みんなのクラシック～



2023-24

しいきアルゲリッチハウス

室内楽シリーズ

2023-24 Shiki presents Argerich's Haus chamber music series



小菅 優

Vol. 26
Kosuge Yu, piano

©Takehiro Goto



竹澤 恭子

児玉 桃

Vol. 27
Takezawa Kyoko, violin
×
Kodama Momo, piano

©松永子

©Marco Borggreve

未来を創る



大分県制定

6月5日『マルタ・アルゲリッチの日』



©Rikimaru Hotta

お問い合わせ

公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団

〒874-0903 別府市野口原 3030-1

しいきアルゲリッチハウス

0977-27-2299

(受付時間: 10:00~18:00 / 定休日: 土・日・祝日)



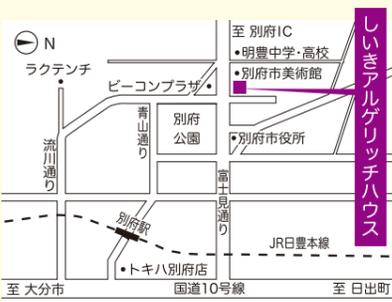
アルゲリッチ芸術振興財団

https://www.argerich-mf.jp

アクセス



写真提供 / [有限会社ジェイクス 佐藤二郎]



しいきアルゲリッチハウス

【主催】 別府アルゲリッチ音楽祭実行委員会
公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団

【後援】 大分合同新聞社 / 朝日新聞大分総局 / 毎日新聞社 / 読売新聞西部本社 / 西日本新聞社 / 共同通信社大分支部 / OBS大分放送 / TOSテレビ大分 / OAB大分朝日放送 / エフエム大分 / ゆふいんラジオ局



佐藤 晴真

津田 裕也

Vol. 28
Sato Haruma, cello
×
Tsuda Yuya, piano

©Seiichi Saito

©Christine Fiedler



川本 嘉子

阪田 知樹

Vol. 29
Kawamoto Yoshiko, viola
×
Sakata Tomoki, piano

©島崎陽子

©Ayuset

2023
Vol.26
11/5 (SUN) 15:00開演 (14:10開場)

幻想の世界



こすげ ゆう
小菅 優
(ピアノ)

2005年カーネギーホールで、翌06年にはザルツブルク音楽祭でそれぞれリサイタル・デビュー。ドミトリエフ、デュトワ、小澤らの指揮でBBC響やNDRエルブフィルと共演。10年ザルツブルク音楽祭でポゴレリッチの代役として出演。その後も世界的な活躍を続ける。現在は様々なベートーヴェンのピアノ付き作品を徐々に取り上げる新企画「ベートーヴェン詣」に取り組む。14年に第64回芸術選奨音楽部門 文部科学大臣新人賞、17年に第48回サントリー音楽賞受賞。録音は、ソニーから発売している『藤倉大：ピアノ協奏曲＜インパルス＞& WHIM/ラヴェル：ピアノ協奏曲ト長調』（第77回文化庁芸術祭優秀賞受賞）をはじめ数多い。17年から4年にわたり、4つの元素「水・火・風・大地」をテーマにしたリサイタル・シリーズ『Four Elements』を開催し好評を博した。23年よりピアノ・ソナタに焦点をあてた新プロジェクト「ソナタ・シリーズ」を始動。

演奏曲目

伊藤京子によるレクチャー 14:40～

F.メンデルスゾーン
幻想曲 嬰へ短調 op.28 「スコットランド・ソナタ」

L.v. ベートーヴェン
ピアノ・ソナタ 第14番 嬰ハ短調 op.27-2 「月光」

F.シューベルト
ピアノ・ソナタ 第18番 ト長調 D894 「幻想」

小菅優 ソナタ・シリーズ Vol.2 「夢・幻想」

19世紀ヨーロッパでは大人になる前に旅に出されたい。そこで情熱に溢れる若者は初めての人生経験を。未知なる地での体験によってさまざまな感情が激しく迸(ほとばし)り、その思い出からは美しい幻想が生まれる。そして苦難に満ちた生立ちを乗り越え、人生の険しい道のりに悩まされると、想像力に縋(すが)ることもある。人間の想像力は限りない。遠い人を思い焦がれたり、厳しい現実から空想の世界へと逃れることもある。音楽はそのような夢を蘇らせる。 小菅 優

2023
Vol.27
12/16 (SAT) 15:00開演 (14:10開場)

幸福な守護神



たけ ざわ きょう こ
竹澤 恭子
(ヴァイオリン)



こ だま もも
児玉 桃
(ピアノ)

桐朋女子高校音楽科在学中に第51回日本音楽コンクール第1位。1986年インドアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで圧倒的な優勝を飾る。これまで、ニューヨーク・フィル、ボストン響、ロンドン響、ライブツィヒ・ヴァントハウス管、ロイヤル・コンセルトヘボウ管等と、また、マズア、メータ、デュトワ、小澤征爾他、多くの名指揮者とも世界の檜舞台で共演している。2014年には東京フィル100周年記念ワールドツアーのソリストを務めた。18年シーズンはデビュー30周年を迎え、各地でリサイタルツアーを成功させた。近年は水戸室内管弦楽団、セイジ・オザワ松本フェスティバルへも参加。しいきアルゲリッチハウス レジデント・アーティスト。使用楽器は、1724年製アントニオ・ストラディヴァリウス。現在、東京音楽大学教授、桐朋学園大学特任教授。

演奏曲目

伊藤京子によるレクチャー 14:40～

W.A. モーツァルト
ヴァイオリン・ソナタ 第18番 ト長調 K.301

L.v. ベートーヴェン
ヴァイオリン・ソナタ 第10番 ト長調 op.96

L.v. ベートーヴェン
ヴァイオリン・ソナタ 第9番 イ長調 op.47 「クロイツェル」

2024
Vol.28
1/28 (SUN) 15:00開演 (14:10開場)

新しい地平線



さ とう はる ま
佐藤 晴真
(チェロ)



つ だ ゆう や
津田 裕也
(ピアノ)

2019年、ミュンヘン国際音楽コンクール チェロ部門において日本人として初めて優勝。18年にはルトスワフスキ国際チェロ・コンクール第1位および特別賞を受賞。第83回日本音楽コンクール チェロ部門第1位および徳永賞・黒柳賞など受賞多数。国内外の主要オーケストラと共演しており、リサイタル、室内楽でも好評を博している。20年、名門ドイツ・グラモフォンよりデビューアルバムをリリースし、23年4月には3枚目のアルバムとなる『歌の翼に～メンデルスゾーン作品集』をリリースした。第18回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第30回出光音楽賞、第32回日本製鉄音楽賞受賞。21年度文化庁長官表彰(国際芸術部門)。現在、ベルリン芸術大学在学中。使用楽器は宗次コレクション貸与のE.ロッカ1903年。

仙台市生まれ。東京藝術大学、同大学院修士課程を経て、ベルリン芸術大学で学ぶ。2007年仙台国際音楽コンクールにて第1位、および聴衆賞、駐日フランス大使賞を受賞。11年ミュンヘン国際コンクール特別賞受賞。ソリストとして日本各地のオーケストラと共演するほか、東京・春・音楽祭、仙台クラシックフェスティバル、武生国際音楽祭、木曽音楽祭などに定期的に招かれる。室内楽活動にも積極的に、多くの著名な音楽家と共演を重ねる。特に、白井圭(vn)、門脇大樹(vc)とはトリオ・アコードを結成し、国内各地で演奏。パスカル・ドヴァイヨン、ガブリエル・タッキーノ、ゴールドベルク山根美代子、角野裕、渋谷るり子の各氏に師事。東京藝術大学准教授。

演奏曲目

伊藤京子によるレクチャー 14:40～

演奏曲目は
後日、財団ホームページ等にて発表いたします。

2024
Vol.29
3/2 (SAT) 15:00開演 (14:10開場)

シューマン その心を聴く



かわ もと よし こ
川本 嘉子
(ヴィオラ)



さか た とも き
阪田 知樹
(ピアノ)

1992年ジュネーヴ国際コンクール・ヴィオラ部門で最高位(1位なしの2位)。96年村松賞、97年第7回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2015年東燃ゼネラル音楽賞・奨励賞受賞。京都アルティ弦楽四重奏団、AOIレジデンス・クワルテットのメンバー。タングルウッド、マールポロ、ダボス、サイトウキネン、アルゲリッチ音楽祭等のフェスティバル、小澤音楽塾、水戸室内管等に参加。また、ソリストとして、これまでにガリー・ベルティニ、ジャン・フルネ等の著名な指揮者と共演。1999年～2002年都響首席奏者。17年～21年までNHK交響楽団の首席客演ヴィオラ奏者を務める。小澤音楽塾、愛知室内オーケストラでは弦楽器アドヴァイザーとして、後進の育成にも積極的に力を注いでいる。類稀なる表現力とテクニックで聴衆を魅了し、日本を代表するヴィオラ奏者の一人として常に第一線で活躍している。

2016年フランツ・リスト国際ピアノコンクール第1位、6つの特別賞。21年エリザベート王妃国際音楽コンクール第4位入賞。東京藝術大学を経て、ハノーファー音楽演劇大学大学院ソリスト課程に在籍。第14回ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールにて弱冠19歳で最年少入賞。クレーヴランド国際ピアノコンクールにてモーツァルト演奏における特別賞、キッセンゲン国際ピアノオリンピックでは日本人初となる第1位及び聴衆賞。国内はもとより、世界各地20カ国以上で演奏を重ね、国際音楽祭への出演多数。15年CDデビュー、20年3月、世界初録音を含む意欲的な編曲作品アルバムをリリース。22年5月には「阪田知樹ピアノ編曲集 ヴォカリーズ」が音楽之友社より出版。内外でのテレビ・ラジオ等メディア出演も多い。17年横浜文化賞文化・芸術奨励賞受賞。23年第32回出光音楽賞受賞。

演奏曲目

伊藤京子によるレクチャー 14:40～

R.シューマン
3つのロマンス op.94 (ヴィオラとピアノ版)
ヴァイオリン・ソナタ 第1番 イ短調 op.105 (ヴィオラとピアノ版)
クライスレリアーナ op.16 より抜粋 (ピアノソロ)
チェロ協奏曲 イ短調 op.129 (ヴィオラとピアノ版)

チケット情報 チケット販売：9月13日(水)10:00～

《全席指定》 1公演券 5,000円 (税込) 4公演セット券(4枚組) 16,000円 (税込) (セット券だと20%お得) 4公演セット券は、アルゲリッチ芸術振興財団(☎0977-27-2299)のみの受付となります。

電話 アルゲリッチ芸術振興財団 TEL.0977-27-2299 (受付時間：10:00～18:00 / 定休日：土・日・祝日) 財団事務局での窓口販売は致しません。

インターネット 登録、お申込みはこちらから アルゲリッチオンラインチケット https://ticket.aserv.jp/argerich/ 事前の登録(無料)が必要です。 Android搭載のフィーチャーフォン(ガラホ)はクレジットカードが利用できます。 携帯サイト https://ticket.aserv.jp/argerich/m.do

プレイガイド トキハ会館 TEL.097-538-3111 トキハ別府店 TEL.0977-23-1111 エトウ南海堂 TEL.097-529-7490 *店頭販売のみ *店頭販売のみ *配送対応可能

◆曲順や曲目は変更になる場合があります。◆事情により出演者・公演内容等が変更になる場合がありますが、公演中止の場合を除きチケット料金の払戻しは致しませんのでご了承ください。公演中止・延期等によりチケットの払戻しが発生する場合は、一定の期間を設け対応致します。払戻しとなった場合でもチケット代金以外の費用(交通費・宿泊費・通信費等)については、払戻しの対象外とさせていただきます。◆一度購入されたチケットの返金交換等はできません。◆未就学児のご入場はご遠慮ください。◆車椅子でお越しのお客様、付き添いのお客様のお問合せ・お申込みは財団事務局に限ります。お申込みは9月13日(水)10:00より電話(☎0977-27-2299)にて受付致します。◆しいきアルゲリッチハウス・サロンは平土間のため、座席の段差がございます。そのため演奏者の演奏の様子が見えづらいお座席がございます。予めご了承ください。

伊藤京子によるレクチャー《全公演》

コンサート前の特典企画。作品や作曲家、演奏者の思いなど、音楽を深く知ることができる貴重な機会です。

伊藤京子 ピアニスト/公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団 副理事長/別府アルゲリッチ音楽祭 総合プロデューサー/しいきアルゲリッチハウス プロデューサー。福岡県出身。東京藝術大学附属高等学校から東京藝術大学、フランクフルト音楽大学卒業。1977年ブゾーニ国際コンクール第3位入賞。シノーポリ、アルゲリッチとの共演をはじめとする演奏活動と共に'94年から大分県での音楽事業に携わる。講演、執筆等活動は多岐にわたる。2018年、別府アルゲリッチ音楽祭を育て、日本の地方と世界の音楽界を結びつけた功績で第77回西日本文化賞を受賞。



©監修 伊藤京子